



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2024 11/1

Volume

60

稜輝祭(大学祭)が開催されました

P2 トピックス
第24回稜輝祭開催

P3 トピックス
パヤオ大学
カンボジア大学
マプア大学との
連携協定締結

P4 トピックス
鈴木 正敏副学長
「C&C賞」受賞

P7 理事長予定者決定



第24回稜輝祭(大学祭)が開催されました

●ステージ発表



YOSAKOIソーラン演舞



アカベラサークル (アカベラ歌唱)



軽音楽部 (バンド演奏)



ダンス部 (ダンス披露)



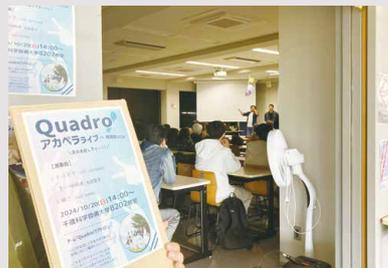
AIUEO (ダンス披露)

●模擬店



理工工房 (ケミカルアート)

●屋内イベント



アカベラサークル (アカベラ歌唱)



ライトアート工房 (展示・アート体験)



菜園サークル (カレー、じゃがバター)



研究室発表



理工工房 (万華鏡・パスボム作り)

2024年10月20日(日)に稜輝祭(稜輝祭実行委員会主催)が開催されました。今回は、『白色点』というテーマが掲げられ、ステージでは、バンド演奏、アカベラ歌唱、ダンス、YOSAKOIソーラン演舞、お笑いライブ(「いつもここから」、「ゴールデンルールズ」、「秘蔵」)が行われました。YOSAKOIソーラン演舞では、学外から14団体が参加し、素晴らしい盛り上がりを見せました。

また、部活動・サークルによる模擬店や体験イベント、作品展示のほか、本学教員による研究室発表なども行われ、盛況のうちに終了しました。稜輝祭の開催にあたり、多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和6年度大学・高専機能強化支援事業(支援2:高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)に選定されました

令和6年6月26日(水)付けで独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請した「令和6年度大学・高専機能強化支援事業(支援2:高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)」に選定されました。

「大学・高専機能強化支援事業」とは、大学(学部又は大学院を置くものに限る。)又は高等専門学校を設置者(大学又は高等専門学校を設置しようとするものを含む。)に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置等を促進することを目的とした助成事業です。

本学は、「既設の情報系分野に係る研究科、専攻を有し、大学院における研究科、専攻、コース等の設置・増員、又は、専攻に係る課程の変更による体制強化を図る取組」として『高度DX専門人材の育成に向けた大学院機能強化』について申請し、選定されました。

パヤオ大学、カンボジア工科大学、マプア大学と連携協定を締結しました

2024年5月21日(火)にパヤオ大学(タイ王国)、2024年6月7日(金)にカンボジア工科大学(カンボジア王国)、2024年7月22日(月)にマプア大学(フィリピン共和国)と連携協定を締結しました。

連携協定のセレモニーはそれぞれパヤオ大学、カンボジア工科大学、マプア大学で行われました。今後は、学生、研究者の相互訪問・交流の実施、共同研究プロジェクトの実施、およびシンポジウム等の共同開催などの交流を行って参ります。



パヤオ大学との連携協定セレモニー
左からSupakorn Pongbangpho学長、
宮永 喜一理事長・学長



カンボジア工科大学との連携協定セレモニー
前列左よりBun Long教授、PO Kimtho学長、
宮永 喜一理事長・学長、青木 広宙教授



マプア大学との連携協定セレモニー
左から宮永 喜一理事長・学長、
Dodjie S. Maestrecamp学長

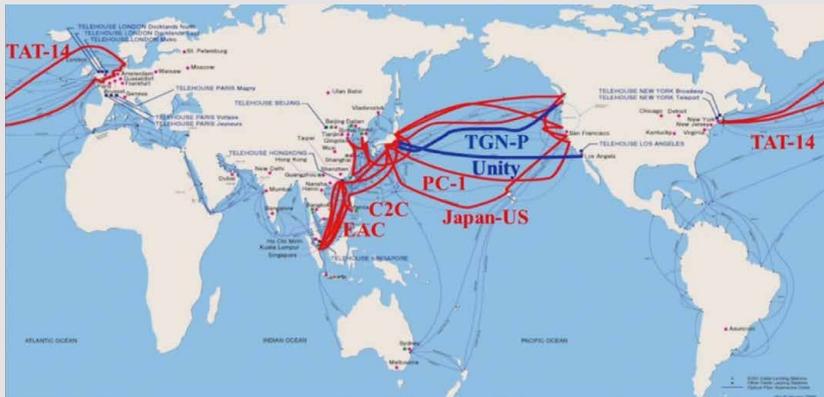
鈴木 正敏副学長が「C&C賞」を受賞しました

本学の鈴木 正敏副学長が、2024年10月15日(火)に公益財団法人 NEC C&C 財団の「C&C 賞」を受賞しました。受賞業績名は、「大容量波長多重光海底ケーブルシステム開発・実用化への貢献」で、秋葉 重幸博士と森田 逸郎博士との共同受賞です。鈴木副学長らの超大容量光海底ケーブルを実現した原理の発見・実証と商用化に至る先導的な研究開発業績が、世界的に学術的・産業的な波及効果が極めて大きいうえに、現代のインターネットやスマートフォンの普及により急速に拡大した情報通信を支えるグローバルブロードバンド基盤の実現に対して社会的な顕著な貢献をしたことが評価されました。

なお、「C&C 賞」は C&C 技術分野(情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術、およびこれらの融合する技術分野)の開拓、研究などに関し顕著な貢献のあった方を顕彰するもので、各受賞者には、賞状、賞牌、賞金(1件当たり1千万円)が贈呈されます。歴代受賞者からは、本年も含めて多数のノーベル賞受賞者が出ています。



「C&C賞」授賞式(左から公益財団法人NEC C&C財団 新野 隆理理事長、鈴木 正敏副学長)



鈴木副学長らの研究開発成果が適用された大容量波長多重光海底ケーブルシステム

※C&Cとは、「コンピュータ技術とコミュニケーション技術の融合(Computers and Communications)」を意味する概念です。

2024年度保護者懇談会を開催しました

2024年7月7日(日)、本学において2024年度保護者懇談会を開催しました。

全体説明会では、宮永 喜一学長からの挨拶に続き、吉本 直人学部長から「本学の学部教育について」、梅村 信弘学生支援・教育センター長から「学習・学生生活について」、小田 尚樹キャリアセンター長から「就職について」、三澤 明大学院幹事から「本学の大学院教育について」の説明を行いました。

個別相談では、保護者の方が日頃不安や疑問に思われていることなどについて、担当教職員から説明いたしました。参加した保護者の方からは、「とても勉強になった。」「参加してよかった。」などの感想が寄せられました。



CIF24を開催しました



名古屋大学 馬場 嘉信教授

招待講演者

- Prof. Kohei Aso, Japan Advanced Institute of Science and Technology(JAIST), Japan
- Prof. Enrique Ezra, Health Sciences University of Hokkaido, Japan
- Prof. Laura Hartmann, Freiburg Univ., Germany
- Prof. Nik Kovicich, York University, Canada
- Prof. Andreas W. Schell, Johannes Kepler University Linz, Austria
- Prof. Keisuke Takahashi, Hokkaido University

2024年9月3日(火)及び4日(水)、本学B101講義室にて「第24回千歳科学国際フォーラム(24th Chitose International Forum on Science and Technology:CIF24)を開催しました。今回は、Advanced Research and Infrastructure for Material DXをテーマに、国内外から招いた専門家による基調講演・招待講演と、一般参加による口頭発表・ポスター発表を行いました。

上記の講演者による6件の招待講演のほか、本学・他大学や高等専門学校などから応募のあった口頭発表13件、ポスター発表56件が行われました。基調講演では、名古屋大学の馬場 嘉信教授をお迎えし、「Advanced Research Infrastructure for Accelerated Biomaterials and Biodevices R&D」と題したご講演をいただきました。

第3回オープンサイエンスパークを開催しました

2024年10月26日(土)、今年度第3回オープンサイエンスパーク「水が繋ぐ旅」をテーマに北ガス文化ホールで開催しました。

今回は、千歳市民のシビックプライドである「豊かな水」がもたらす歴史と産業をテーマとした内容で行いました。本学の曾我 聡起特任教授から、「日本一低い分水嶺を探す」と題し、「シコツ越え」で知られる地域の歴史を紐解きながら日本海に流れる千歳川と太平洋に流れる美々川の分水嶺についてお話がありました。

地域連携センターの松本 仁コーディネーターから、「産業を支える水 - 製造業における水-」と題し、千歳市の産業の歴史と、現在280社を超える企業が豊かな水に支えられていることを他県との比較や様々なデータでわかりやすくお話がありました。

また、有限会社谷川企画クリアデザインの毛利 誠代表から「水がつなぐ ちとせの観光」と題し、千歳市の観光地(支笏湖、千歳水族館など)やお店の取材をもとに、千歳市の魅力をお話いただきました。その後、パネリストとして一般社団法人千歳観光連盟の小田 賢一会長、支笏湖ビール企画の佐藤 暁子代表をお迎えし、下村 政嗣客員教授のファシリテートで会場、オンライン参加者と意見交換を行いました。



2024年度オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました



2024年度のオープンキャンパスは、6月・8月・10月と計3回開催しました。また、いつでも視聴可能なオンデマンド配信も実施し、延べ1,583名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。多くの参加者と学生スタッフの協力により、オープンキャンパスが大いに盛り上がりました。ご来場、ご協力いただきました皆さんに感謝を申し上げます。

来場者アンケートでは「オープンキャンパスには初めて参加しましたが、ホームページだけでは知ることのできない雰囲気などを知れてよかったです。」「貴学を志望する気持ちがより強くなる1日となりました。学生の皆さんの案内が分かりやすくて、最初はとても不安でしたが、楽しく回ることができました。」などの感想が寄せられました。

次年度のオープンキャンパスにつきましては、決定次第ホームページ等でご案内いたします。

令和7(2025)年度一般選抜入試日程

試験種別	出願期間(消印有効)	第1段階選抜結果の発表	試験日	合格発表日	入学手続期間
前期日程	2025年 1月27日(月)9時 ～2月5日(水)17時 ※出願期間最終日の消印有効	—	2025年 2月25日(火)	2025年 3月6日(木)	2025年 3月7日(金)～3月15日(土)
公立大学 中期日程		2025年 2月14日(金) (注1)	2025年 3月8日(土)	2025年 3月21日(金)	2025年 3月22日(土)～3月27日(木)

注1 公立大学中期日程の志願者数が募集人員の12倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜実施の有無は2025年2月14日(金)に発表します。



インターネット出願

一般選抜の出願はすべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。
(インターネット出願サイトから入力しただけでは、正式な出願とはなりません。入学検定料の支払いおよび出願書類が本学で受理されて初めて正式な出願となります。)

地域貢献

2024年度第1回、第2回公開講座を開催しました

2024年6月29日(土)、10月24日(木)にそれぞれ2024年度第1回、第2回公立千歳科学技術大学公開講座を北ガス文化ホールで開催しました。

第1回公開講座は電子光工学科の横井 直倫教授による「生活の質の向上に貢献する光テクノロジー」というテーマで、生体計測技術、衛生監視技術、ならびに微粒子の計測・制御技術に関する研究成果をご紹介いただき、これらを踏まえて私たちの日常生活に深く関わる光テクノロジーについてお話をいただきました。

第2回公開講座は、応用化学生物学科の脇坂 聖憲准教授による「量子の世界の磁石のはなし」というテーマで、急速に発展しているスピン量子ビットに関するお話をいただきました。

参加者からは「生態系の様々なデータを光テクノロジーでとることができることを初めて知りました。とても興味深いセミナーでした。」「面白かった、ワクワクした。」などの感想をいただきました。



第1回公開講座の様子 横井 直倫教授



第2回公開講座の様子 脇坂 聖憲准教授

法人情報

理事長予定者の決定について

公立大学法人公立千歳科学技術大学の理事長の任期が令和7年3月31日をもって満了となることから、公立大学法人公立千歳科学技術大学理事長選考会議において、次期理事長予定者の選考を行いました。選考の結果、現理事長である宮永 喜一氏を次期理事長予定者として決定しましたので、お知らせいたします。

次期理事長の任期

令和7年4月1日から令和9年3月31日まで(2年間)

再任理由

理事長選考会議は、理事長予定者選考にあたり、公立千歳科学技術大学理事長選考等規程に則り、現理事長である宮永 喜一氏に理事長職への継続意思があることを確認し、再任審査を行いました。

再任の審査については、「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有するとともに、地域社会に対する積極的な貢献に意欲のある者」という選考基準に基づき、理事長選考会議において提出された書類による書類審査、面談及び次期任期における所信表明の内容等を総合的に判断した結果、宮永 喜一氏は選考基準に合致し、次期理事長として適任であると判断し、理事長予定者として再任を決定しました。



宮永 喜一 理事長

新入教員挨拶

次の世の中は 若いみなさんが創ります

副学長 教授 鈴木 正敏



2024年7月に着任した鈴木 正敏です。企業の研究所で大容量光通信の研究に長年携わり、その他、公益財団でのSDGs関連の青少年や開発途上国の支援や大学院生の研究指導を行ってきました。この間、ICTは私達の生活スタイルや心理面さえも変えてしまいました。昔の大型計算機なみの高性能スマートフォンを肌身離さず持ち歩かないと不安に感じてしまうことや、世界中の情報が瞬時に手に入る時代になることを誰が想像できたでしょう。この大きな変化をもたらしてきたのは、いつの時代も皆さんと同じ当時の若者です。皆さんが本学での学びを通して、既成概念にとらわれない自由な発想で、次の世の中を創造していく世界で活躍する人材になれるよう支援したいと思います。

高周波実装設計技術で 半導体の高性能化に貢献

理工学研究科理工学専攻 准教授 大島 大輔



2024年11月に着任した大島 大輔と申します。専門は電磁波工学で、これまで約20年間、企業で半導体チップを実装するパッケージ基板と呼ばれる回路基板の高周波実装設計の研究開発に従事していました。近年、半導体の高性能化と低コスト化を両立する技術として、チップレット技術が着目されています。本技術は、半導体の機能を複数のチップに分割して低コスト化を図る一方で、複数チップ間的高速かつ高密度な配線をパッケージ基板が担うこととなります。そのため、高周波実装設計の品質が半導体の性能を左右することとなり、その重要性が高まっています。本学では、チップレット時代に適した高周波実装設計技術の研究を進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新入職員挨拶



学生支援課学生係
青木 拓郎

2024年6月より、学生支援課学生係に配属となりました青木 拓郎と申します。事務作業等の経験はなく、業務を行う上で皆様にご不便をおかけすることもあるかと思いますが、日々勉強し円滑に業務を進めることによって、学生並びに教員の皆様の学生生活、研究等の様々な面でのサポートができるよう精進してまいりますので、よろしく願いいたします。



入試広報課入試広報係
茂木 ひより

2024年6月より、入試広報課入試広報係に配属となりました茂木 ひよりと申します。大学は教育学部出身で卒業後は教職に就いておりました。大学事務の経験がなく、社会人としてもまだまだ未熟で、皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしてしまうこともあると思いますが、入試広報課の仕事をいち早く覚え、皆様のお役に立てるよう、精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

法人情報

訃報

2024年10月26日(土)の未明、理工学部3年の本学学生が事件の被害に遭い、お亡くなりになりました。大変悲しい出来事であり、これまでの故人の大学での活躍やご功績には深く感謝の意を表しますとともに、安らかなご冥福をお祈りします。また、ご遺族には心より哀悼の意を表します。この事件により、体調の変化や精神的な不安を抱えている在学生に対しましては、学生相談室や保健室において学校医、保健師、各カウンセラーが相談に応じておりますので、そちらをご利用くださいますようお願い申し上げます。 教職員一同

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただきました皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます(敬称略)。公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に対し、多くの皆様からの深いご理解とご厚情を賜りますようお願いいたします。

寄付者ご芳名
(2024年5月1日から2024年10月31日まで)

塩見 和広	長路 忠浩	小山田崇人	土井 雅明
草野 忍	西郷理津子	(株)クライム	田中 誠
春日 享子	小松 大亮	堀野 良和	萱場眞佐江
堀野 一生	熊谷 友宏	田名網孝介	西 茂
日本人間工学会第65回大会事務局			高橋 誠
他 匿名希望の方11名			敬称略

ご寄附に関する詳細につきましては、
本学ホームページをご覧ください。

